神木山報

shibokusanpou

一隅を照らそう
12月号

２８７号
毎月28日発行

E-mail:info@tougakuin.jp

今年の掲示板

住職　中島　有淳

女坂の登り口の掲示板に月に二度（一日、十五日）短い文を掲載しています。その時の気持ちによって、文字から受ける印象は違うものです。今年も例年に倣って一年の文を振り返ってみます。

一月　一日一笑
　うちの子　よその子
　みんな大事な　仏の子

二月　心をととのえてこそ
　安らかさが得られる

三月　花は咲く
　縁が集まって　咲く
　止悪作善

四月　別れの悲しみは
　受けた愛情の　代償です
　仏法はるかにあらず
　心中にして
　すなわち近し

五月　しあわせとは
　自分の持っているものを
　喜ぶことです
　『ブータンしあわせの日めくり』より
　み佛の中に已れあり
　我が中にみ佛おわす
　たのもしきかな

六月　小麦をまいたら　小麦が実る
　大麦をまいたら　大麦が実る
　『ブータンしあわせの日めくり』より
　師に二種あり
　一つには法
　一つには人

七月　赤い花には　赤い花が
　白い花には　白い花が
　花に　百日の紅なし

八月　偽りを言わず　悪口を言わず
　清涼寂静
　慈悲あれば
　心すずやかに

九月　真言は不思議なり
　観誦すれば
　無明を除く
　仏は常に
　ここで　説法している

十月　燃えさかる　煩悩の人間を
　この生死は　すなわち
　救うものは　何か
　佛の御いのちなり

十一月　つらい時こそ
　微笑みを
　願わないのに　病み
　千秋万歳楽（せんしゅうまんざいらく）
　望まないのに　老いる
　＊長寿を楽しむ

今年は酉年で、関東三十六不動霊場を回られる参拝者が多い年でした。各地の社寺をお参りする際にも、そこに掲げられていた何気ない一言が心に残る、といった経験は、皆さまお持ちかと思います。

當山の掲示板からも、ご信徒の皆様の心に届く言葉が、果たして幾つあったでしょうか。

お気持ちのリセットに、お役に立てばと思っています。

折りふしのはな

あわこがねぎく（泡黄金菊）

昨年
道の駅で見つけた
こがね色の
小さな花が愛らしい
あわこがねぎく

今　まだ蕾なので
これから咲いてくるのが
楽しみです

（遊）

行事案内

◎八日　午後二時
　薬師如来祈祷会　観音経読誦
◎十八日　午後二時
　観音経読誦法要（於・神木観音堂）
◎二十二日　午後二時（冬至）
　星祭供修行
◎二十八日　午後二時
　不動明王護摩供修行
◎平成三十年元旦　午前五時・午後二時
　開運初護摩供修行
＊毎朝 六時より公開で朝のお勤めをしております
ご都合のよろしい時には ご一緒にどうぞ

今月は納めの月です
ご参詣下さい

あとがき

○『星祭』『元旦開運初護摩』等のお申し込みを受付中。今年も多くの方のお申し込みとお参りをお待ちしております。

○上記のように、関東三十六不動霊場のお不動さまご開帳もあと一ヶ月を残すのみ。當山のご本尊不動明王は絶対秘仏なので、今年は、十年前に新刻奉安された下陣のお不動さまに、お手綱を結ぶかたちで参拝の皆様をお迎えしました。各寺院、ご開帳は年末までですが、ご朱印は来年も継続します。

○トランプ大統領の来日。日米関係、近隣諸国との関係がどうなっていくのか、生活にも直結してくる問題として気を揉むところです。

○大相撲九州場所は横綱日馬富士の暴力沙汰が大きな問題に。土俵の外でのかわいがりは暴力そのものです。

○本年も多くの方々にお世話さまになりながら師走となりました。大変ありがとうございました。御礼申し上げます。身も心も温かくして、ご自愛の上、よいお年をお迎え下さい。

合　掌